

令和3年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

【検証対象年度:令和2年度】

No	事業名 計画期間	事業概要	総事業費 【R2年度実績 額】 交付金充当経費 【R2年度交付 額】 単位:円	事業の進捗状況 【R2年度まで】	本事業における重要業績評価指標(KPI)の目標値と実績値										事業担当課による					外部検証委員による	
					指標	単位	開始前	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	事業の評価			実績値を踏まえた事業の 今後について		事業の 評価	意見		
													事業効果	事業の評価	評価の理由	今後の方針	今後の方針の理由				
1	クリエイティブプラ ット フォーム形成事業 H31年4月～R4年3月 (2年目)	<p>【1. クリエイティブネットワーク形成事業】 (令和元年度) 地元企業等とクリエイティブな学生や人材 をつなぐプラットフォームを形成し、新しい 形態のアイデアや商品、サービスの具現 化、大学生の地元企業への就職・起業を促 進し、クリエイティブの力により地域経済を 活性化させる。</p> <p>【2. 拠点施設整備事業】(令和元年度～3 年度) 現在の山形まなび館を、「(仮称)やまが たクリエイティブシティセンター」(以下「ク リエイティブシティセンター」という。)として整 備する。 現在未整備のままとなっている2階、3階 を中心に施設全体をリニューアルし、ク リエイティブな活動の拠点及び地元企業等とク リエイティブな人材をつなぐ拠点として活用 していく。</p> <p>【3. 拠点施設試験的運営事業】(令和元 年度～2年度) クリエイティブシティセンターを整備するに あたり、現在未整備となっている2階3階を 試験的に活用したイベントや、今後の施設 の整備や活用方法をテーマとしたワーク ショップの開催、前庭を活用したマルシェ等 を開催し、その成果を施設の設計に活か していく。</p> <p>【4. エリアブランディング事業】(令和2年 度) クリエイティブシティセンターを起点とした 新たなエリアリノベーションを誘発し、本 事業の効果を中心市街地全体へと波及さ せていくためにエリアブランディングを行う。</p> <p>【5. クリエイティブシティブランディング事 業】(令和3年度) クリエイティブネットワークの形成及びク リエイティブシティセンターの整備を機に、山 形市がクリエイティブシティであることをブラン ディングする。</p> <p>【6. 大学生定着に向けた大学生と地元企 業とのマッチング事業】(令和2年度～3年 度) 企業の求人情報と大学生が知りたい情報 のミスマッチを解消し、クリエイティブ人材 である大学生と地元企業等とをマッチング する新たな仕組みを検討するため、大学生 の就職に関する価値観等をヒアリングし、傾 向を分析する。 また、市内企業の求人情報に関しては、給 料等の条件面にものがほとんどであり、会 社のビジョン等のこれまであまり得ることが できない企業の情報を発信し、情報発信の 切り口を変えることで大学生の地元企業へ の就職が促進されるかの社会実験を実施 する。</p>	90,140,660	(R元年度) 【1. クリエイティブネットワーク形成事業】 ①クリエイティブ会議 計3回 ・クリエイティブネットワークへの参加が期待 できる企業や団体・個人を招いた公開ディ スカッション、既にリノベーション分野で活躍 している講師を招いた講演会を開催。	指標①	件	0	1	3	7					地方創生に 非常に効果 的であった	KPI達成に 有効であつ た	事業の継続	KPI達成に有 効だった	<p>「創造都市山形」を推進するた め、様々な事業に取り組んでい る。その成果はまだ十分には表 れてきていないが、有効であつた と判断する。 令和4年9月完成予定の「ク リエイティブシティセンター」の活動 に対する市民の期待も大きい。今 後も「創造都市」として山形が求 めようとしている姿を理解してもら えるよう、市民へのさらなる周知 徹底を図り、オール山形で取り組 んでいきたい。 令和2年度に行われた大学生・ 企業を対象にしたアンケート結果 を踏まえ、両者のミスマッチを解 消し、地元雇用の増進、ひいては 地域の発展につなげていただき たい。</p>		
				(R元年度～2年度) 【2. 拠点施設整備事業】 ①施設の基本設計を実施。(R元年度) ②施設の実設計計を実施。(R2年度)	実績値	0	1	4													
				(R元年度～2年度) 【3. 拠点施設試験的運営事業】 ①リノベーションスクールの開催(R元年度) ・まちづくりやリノベーションに興味のある市 民や学生、企業、団体等を募り、山形まな び館そのものを題材物件に専門講師による リノベーションスクールを開催。 ②クリエイティブシティセンター試験的活用 事業の展開。(R元年度～2年度) ・既存の1階部分を利用したブックカフェの 展開(R元年度～R2年度) ・クリエイティブシティマーケットの開催 計1 回開催(R元年度) ・東北芸術工科大学による山形ビエンナ レ事業の開催(R2年度) ・クリエイティブシティセンターへのテナ ント入居等による参画事業者の誘致活動(テナ ントリーシング)の実施(R2年度) ③創造都市推進事業の実施 (R元年度:計10回、R2年度:計12回)	指標②	人	0	0	1	2											
				実績値	0	1	1														
				(R2年度) 【4. エリアブランディング事業】 ①商品開発ワークショップの実施(R2年度: 4商品) ・山形のクリエイターと既存企業とのコラボ レーションによる商品開発ワークショップを 実施。 ②エリアビジョン会議の開催 計4回 ・先駆的な活動実績のあるクリエイター等を ゲストに迎え、本事業推進のためのク リエイティブなアイデアをディスカッションする公 開型会議を開催。	指標③	件	0	0	1	2											
				実績値	0	0	1														
(R2年度) 【5. 大学生定着に向けた大学生と地元企 業とのマッチング事業】 ①大学生を対象に、就職先を選ぶ際 に優先することに関するアンケート調査 を実施。 ②市内企業を対象に、企業等の雇用状 況・採用活動に関するアンケート調査 を実施。	指標④	回	7	10	12	12															
実績値	7	10	12																		

No	事業名 計画期間	事業概要	総事業費 【R2年度実績額】 交付金充当経費 【R2年度交付額】 単位：円	事業の進捗状況 【R2年度まで】	本事業における重要業績評価指標(KPI)の目標値と実績値						事業担当課による					外部検証委員による				
					指標	単位		開始前	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	事業の評価			実績値を踏まえた事業の今後について		事業の評価	意見
														事業効果	事業の評価	評価の理由	今後の方針	今後の方針の理由		
2	スクスク(SUKSK)生活定着推進事業 —健康医療先進都市の実現に向けて— H31年4月～R4年3月(2年目)	1 健康ポイント事業SUKSK(スクスク)の拡大 健康医療先進都市の実現に向け、市民の皆様の健康に対する意識を高めることを目的に、S(食事)、U(運動)、K(休養)、S(社会)、K(禁煙・受動喫煙防止)の頭文字をキーワードとした「SUKSK(スクスク)生活」を提唱し、具体的な取り組みを進めている。 その事業の一つとして、市民が健康づくりやSUKSK(スクスク)生活に楽しく取り組めるよう、専用のスマホアプリ又は歩数計を活用して、ポイントをためる事業を実施。個人参加者及び市内事業所参加者の増加、ポイント対象事業の拡大を図る。 2 健康増進ウォーキング及びサイクリングロード整備方針の策定 山形市内全域を対象とし、ウォーキングロードやサイクリングロードに関する整備方針を策定し、ウォーキングマップやサイクリングマップを作成することで、市民の運動を促進する。 3 SUKSK(スクスク)ヘルシーメニュー事業の実施 市民の健康づくりを支援し中心市街地の活性化を図るため、中心市街地の飲食店で食べることができるSUKSKメニュー提供店を認定し、周知する。市民に適切な塩分摂取や栄養バランスについて理解してもらうことで、市民の健康寿命の延伸を目指す。 4 たばこの煙のない中心市街地への取り組み 令和元年度に作成した中心市街地において禁煙を積極的に推進している集客施設や飲食店等を紹介する禁煙のお店ガイドブックを活用し、掲載店等はステッカーを配付し、市民に周知する。	49,419,331	1 健康ポイント事業SUKSK(スクスク)の拡大 (1)参加者数(令和3年3月31日現在)5,028人(目標定員4,000名) (2)参加者の構成 男女別では、男性が40%、女性60%。年代別では30代～50代で半数以上を占め、働き盛りの世代の参加者が多い。 (3)事業所参加数 46事業所(昨年度+22事業所)629人(昨年度+307人) (4)事業所内での健康づくり支援 集まる必要がなく個人で取り組めるというアプリのメリットを活かし、コロナ禍でもできる健康づくりを提案。7社から申出があり、オリジナルグッズ等を提供し、事業所内での健康づくりに活用していただいた。	指標①	人	目標値	0	750	750	750	/	/	地方創生に効果があった	KPI達成に有効であった	健康ポイント事業について、目的としていた働き盛り世代の方が多く参加しており、目標参加者数を達成している。 中心市街地等のウォーキングマップや禁煙のお店ガイドブックの作成を実施。SUKSK(スクスク)ヘルシーメニューの認定店の増加等は見られたものの、通行量自体は減少している。中心市街地にあった大沼デパートの閉店や、新型コロナウィルスの影響による外出機会の減少の影響も大きいと推測される。 一方で、市内の健康優良法人の認定数やSUKSK(スクスク)ヘルシーメニューを食べた市民の数は目標を大きく上回った。SUKSK(スクスク)ヘルシーメニューについては、認定基準を複数設ける等の取り組みが、認定店拡大につながったと考えられる。	事業の継続	健康ポイント事業SUKSKの参加者数自体は目標を達成したものの、実際に健康づくりの目標を達成した人の数の増加が鈍く、今後は歩くための施策等についてさらに検討していく必要がある。また、事業所の健康づくりにしても、アプリを活用した健康づくりを推進していくことで、KPIの達成を目指していく。また、中心市街地の歩行者通行量については、継続して中心市街地のウォーキングコースの設定やSUKSK(スクスク)ヘルシーメニューの認定店を増やしていくことで、人の流れを生み出せるよう取り組んでいく。	KPI達成に有効だった	市民の健康増進に果たすこの事業の役割は大きいと思う。市民への周知・宣伝が進んだためか、新型コロナウィルス感染症の影響や地元デパートの閉店といったマイナス要因を除けば、着々と実績を上げてきていると判断してよい。 この事業は市民がとても楽しく取り組める健康増進事業なので、ぜひ一人でも多くの市民が参加できるよう、今後も普及に努めたい。せっかく作った、素晴らしい「ウォーキングマップ」を活用しつつ、様々な市民活動とのコラボレーションにより市民が楽しく参加できるSUKSKイベントを開催し、参加市民数を更に増やしていただきたい。 また、市民の参加者数を増やすためにも、スマートフォン対応が苦手な市民でも別なり方で参加できるよう、工夫していただきたい。
				2 健康増進ウォーキング及びサイクリングロード整備方針の策定 (1)有識者や関係団体・機関による検討会議を設置し、ウォーキング及びサイクリング環境の現状と課題について整理を行い、検討の進め方や方向性について協議を行った。	指標②	人	目標値	29,930	6,070	500	500	/	/							
				2 健康増進ウォーキング及びサイクリングロード整備方針の策定 (1)有識者や関係団体・機関による検討会議を設置し、ウォーキング及びサイクリング環境の現状と課題について整理を行い、検討の進め方や方向性について協議を行った。	指標③	社	目標値	5	0	5	5	/	/							
				2 健康増進ウォーキング及びサイクリングロード整備方針の策定 (1)有識者や関係団体・機関による検討会議を設置し、ウォーキング及びサイクリング環境の現状と課題について整理を行い、検討の進め方や方向性について協議を行った。	指標④	人	目標値	0	500	600	700	/	/							
				3 SUKSK(スクスク)ヘルシーメニュー事業の実施 (2)ウォーキングマップの作成 山形市健康づくり運動普及推進協議会と協力し、中心市街地や市内を巡る7つのウォーキングマップを作成した。作成したマップは、市内の公民館やコミュニティセンターで配布した。			実績値	0	980	256										
				3 SUKSK(スクスク)ヘルシーメニュー事業の実施 協力店舗数 13店(メニュー数 43種)、合計 12,542食			実績値	29,930	-934	-3,624										
				4 たばこの煙のない中心市街地への取り組み 令和元年度に作成した中心市街地において禁煙を積極的に推進している集客施設や飲食店等を紹介する禁煙のお店ガイドブックを市内各所にて配布、掲載店等にはステッカーを配付し、市民に周知した。 また、子どもの受動喫煙を防止するため、山形市子どもの受動喫煙防止条例を制定、施行し、中心市街地エリアを含め、周知チラシ等を配布した。			実績値	5	21	16										
				4 たばこの煙のない中心市街地への取り組み 令和元年度に作成した中心市街地において禁煙を積極的に推進している集客施設や飲食店等を紹介する禁煙のお店ガイドブックを市内各所にて配布、掲載店等にはステッカーを配付し、市民に周知した。			実績値	5	517	12,025										

No	事業名 計画期間	事業概要	総事業費		事業の進捗状況 【R2年度まで】	本事業における重要業績評価指標(KPI)の目標値と実績値										事業担当課による				外部検証委員による		
			【R2年度実績額】	【R2年度交付金額】		事業の評価		実績値を踏まえた事業の今後について		事業の評価	意見											
		単位:円				指標	単位	開始前	1年目			2年目	3年目	4年目	5年目	事業効果	事業の評価	評価の理由	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	意見
3	子や孫の代まで元気な山形を遺す産業再生計画 R2年4月～R3年3月(3年目)	1 山形市売上増進支援センター設置、運営事業、産業支援機関である山形市売上増進支援センター(以下、「売上増進支援センター」)を開設運営する。売上増進支援センターは、センター長やITアドバイザー等を配置し、企業の「強み」を明確にして売上を向上させる相談業務を相談者に密着した伴走型で実施する。 2 企業間連携ネットワーク事業 主に製造業を中心とする企業の販路拡大等を支援するため、山形大学と連携し多業種にわたる企業間連携を推進する仕組みづくりを行い、展示会等への共同出展等により域外からの受注の獲得を目指すとともに、域内での企業間取引の拡大を図る。 3 サテライトゼミ開催事業 中小企業大学校仙台校及び金融機関との連携により、営業戦略や販路拡大等をテーマとしたサテライトゼミを開催し、「稼ぐ力」を養うための人材を育成する。	60,427,051		1 山形市売上増進支援センター設置、運営事業 H30.12.13にY-bizを開所し、H31.1.4から相談を実施している。 2 企業間連携ネットワーク事業 村山総合支庁主催の企業間連携グループ勉強会に参加し、製造業における企業間連携の情報収集を行うとともに、機械要素技術展の出展者を募集し、域内の企業の取引の拡大を図った。 ・企業間連携グループ勉強会 令和元年12月19日 令和2年1月16日 令和2年度 コロナの影響により中止 ・機械要素技術展 令和3年2月3～5日 山形市内出展企業者 5社	指標①	相談企業の内、製品の売上げが向上した企業数	者	目標値	0	54	162	72	/	/	地方創生に効果があった	KPI達成に有効であった	Y-bizのアドバイスを受けた商品やサービスが令和2年度中には、テレビ149件、新聞232件をはじめ、様々なメディアに掲載されており、企業の売上げ増進につながっている。	事業の継続	多くの事業者が、繰り返し相談に訪れており、伴走型支援という目標については、達成されており、引き続き事業者支援を継続していく必要がある。 成功事例に触発され、新たなチャレンジが産まれるという好循環が形成されており、今後企業も売上増進に効果があると考えられる。	KPI達成に有効であった	この山形市売上増進センター(Y-biz)を主とする事業の山形市産業活性化に果たす役割は大きい。相談件数からみても、地元企業の期待も大きいことが伺えるが、残念ながら実績がそれに伴っていない。今後は多くの企業が参加しやすいよう、勉強会やゼミなどをWeb会議方式で更に多く行うことを検討していただきたい。アフター・コロナでも、より多くの企業の参加を実現するために、この方式は有効であると思われる。山形市売上増進センターの設置は、中小・零細事業者にとって数居の低いコンサルタントとして喜ばれている。事業者に寄り添ったアドバイスはとても助かるという声を聴いている。ぜひ続けていきたい。
			31,222,000		3 サテライトゼミ開催事業 日時:令和2年9月1～3日 場所:食糧会館 受講者:5名 テーマ:「販路拡大のためのメディア活用」	指標②	相談件数	件	目標値	0	180	540	1,000	/	/							
			指標③	相談企業の内、見本市等出展における商談成約件数	件	目標値	0	130	200	250	/	/										
						実績値	0	0	0	5	/	/										
						実績値	0	17	17	22	/	/										
						実績値	0	398	1,733	1,601	/	/										

